

幸せのための経済学 (衡平性の経済学)

Takayuki Oishi seminar

経済学部 経済学科
准教授 大石 尊之



大石ゼミに入ると…

- ・経済学が身近な問題に応用できることがわかる。
(例えば、スマートフォンの料金体系がなぜあのようなになっているかが経済学的にわかる。)
- ・経済学が最近の日本で深刻化している社会経済問題に応用できることを学べる。
(例えば、複数の被災地に少ない支援物資を迅速に分配する時にどのような配分方法が望ましいのかが経済学的にわかる)

研究テーマ

いま兄弟の前にケーキが1ホールあります。兄弟げんかが起きないようにするには、あなたならどのように切り分けますか？

ケーキに対して持つ兄弟の好みは必ずしも同じとは限りません。そのようなときに、半分に切り分けるのが衡平な切り分け方でしょうか？それとも別の切り分け方でしょうか？

このような問題を扱う経済学を「衡平性の経済学」と言います。衡平性の問題はさまざまな社会・経済問題の根底にあり、ときに深刻な利害対立や紛争を生じさせます。利害対立や紛争をなくすためには衡平性の経済学の考え方が欠かせません。ゼミではこのテーマを学生の皆さんと一緒に、丁寧に議論しながら学んでいきます。